

森のかおり 物入収納両開ユニット

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

部品構成

【枠梱包】

部 品 名	数量
縦枠(左右)	2
鴨居	1
枠組立ビス	4
躯体取付ビス	6
カバー付ビス	2

枠組立ビス
躯体取付ビス



3.4×60

カバー付ビス

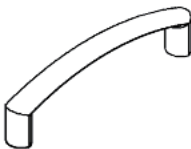


4.5×47

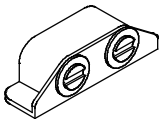
【扉梱包】

部 品 名	数量
ハンドル(ビス付)	2
スライド丁番(座・ビス付)	6
マグネットキャッチ	2
扉(左右)	2

ハンドル(ビス付)

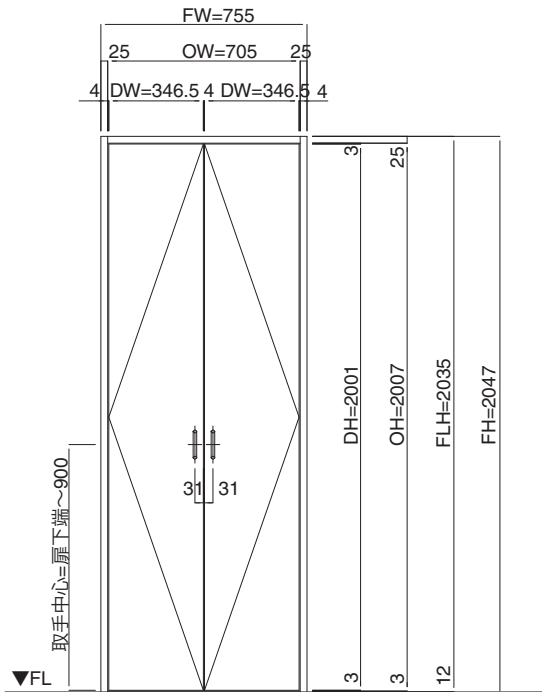


マグネットキャッチ

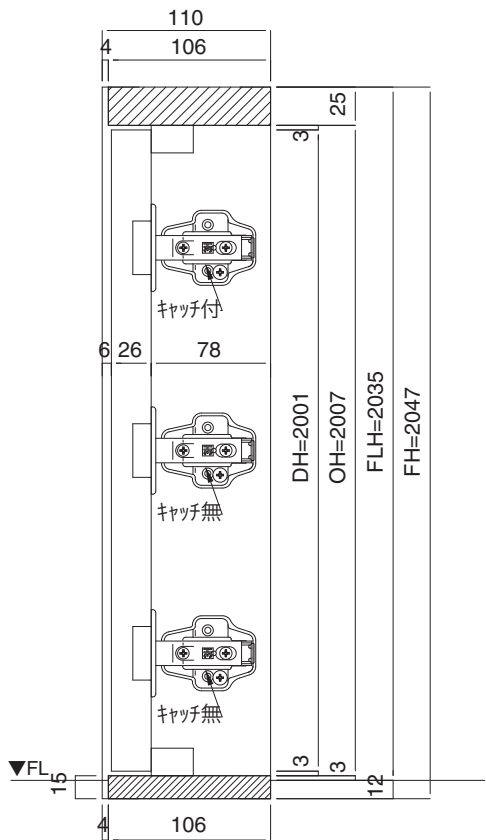


製品寸法図

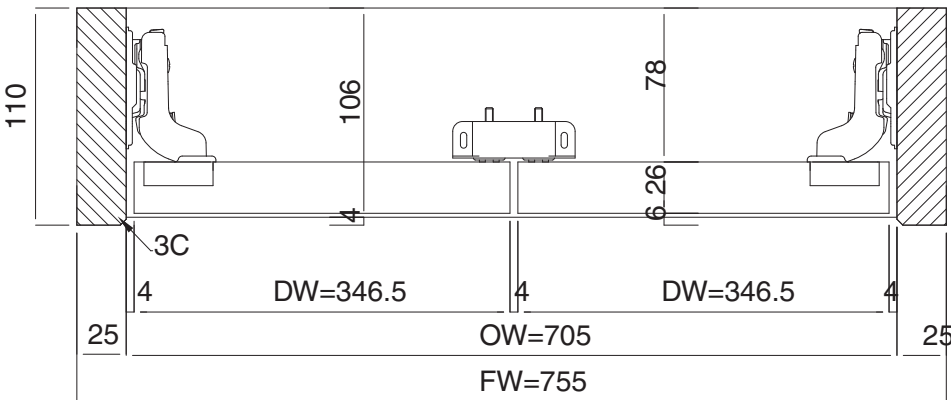
姿図



縦断面図



横断面図



1. 枠の組立て・取付け

①枠をビスで組み立ててください。組み立てた枠を、
躯体取付ビスとカバー付ビスを使って躯体に固定
してください。

注意 垂直・水平を必ず確認してください。

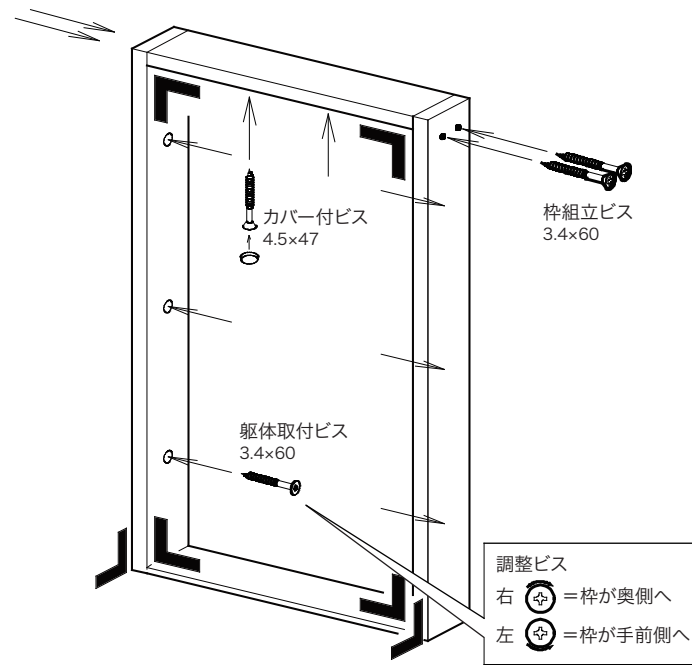
②カバー付ビスで縦枠の建付けを調整してください。

カバー付ビスの使い方

- カバー付ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
- カバー付ビスで、縦枠の下穴より躯体に取り付けて
ください(プラスドライバー使用)。
- 下げ振りなどで確認しながら、プラスドライバーでビ
スを回して、建付けを調整してください。

注意 カバー付ビスによる調整は、必ずボードを貼
る前に行ってください。

③縦枠に穴キャップを取り付けてください。



2. 部品の取付け

《ハンドル取付け》

①扉の裏面からビスを差し込み、ハンドルをビスで取り付けてく
ださい。

《マグネットキャッチの取付け》

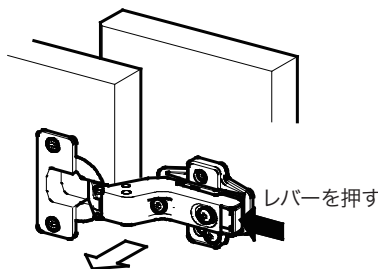
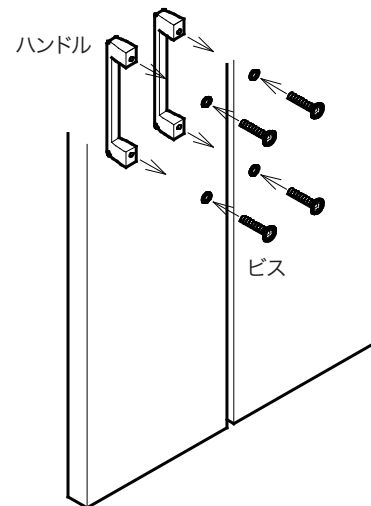
①マグネットキャッチを付属のビスで扉の間に取り付けてくださ
い(上下2ヶ所)。

《スライド丁番・扉の取付け》

- ①スライド丁番の座金を付属のビスで枠に取り付けてください。
- ②スライド丁番を付属のビスで取り付け、扉を枠に取り付けてく
ださい。

《扉の外し方》

- スライド丁番の後部のレバーを押すと、丁番が座金から外れ、
扉を枠から外すことができます。
- 取り付ける場合は、丁番を座金の元の位置に押し込むだけで
ワンタッチで取り付けられます。



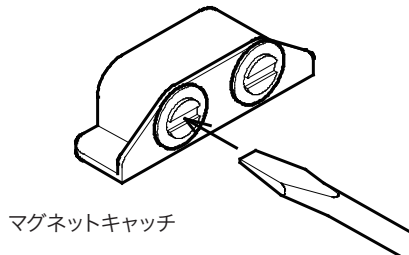
3. 建付け調整

《戸先の前後調整》

- マグネットキャッチのマグネット部をマイナスドライバーで回し、
マグネットが前後に移動することで、戸先の前後調整ができます。

《スライド丁番による調整》

- スライド丁番で、扉の上下、前後、左右の調整ができます。



①上下調整

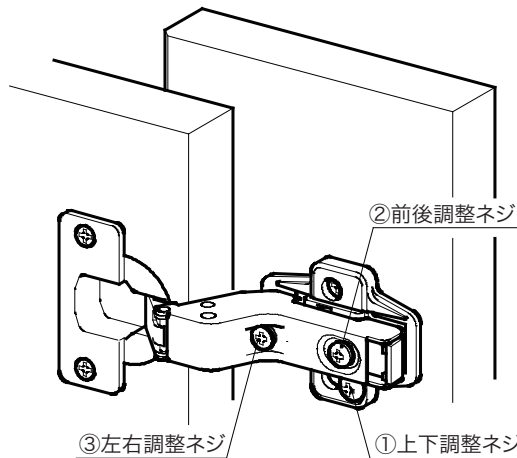
座金の上下調整ネジをゆるめ、扉を上下に
移動させた後、締め直してください。

②前後調整

丁番の前後調整ネジをゆるめ、扉を前後に
移動させた後、締め直してください。

③左右調整

左右調整ネジを回すと、扉が左右に移動し
ます。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないで
ください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。